

JPC

NEWS

Japan Pentecostal Council

2016.5
Japan Pentecostal
Council News
Vol.13

特集「女性のための
ミニストリー」

日本宣教のブレークスルーへの提言

日本ペンテコステ協議会

議長 **寺田 文雄**

(日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団理事長)



先月九州熊本を中心とする大地震が発生し、日本列島は大地動乱の時代を迎えたと言われるほど大変動期に入っています。ヘンリークラウドは、「リーダーは現実に向き合うことが必要であり、追い風の時と逆境の時、それぞれの現実に合わせた違ったアプローチが求められる」と指摘します。(「リーダーの人間力」) 近年の日本宣教の現実を見るときに、日本の多くの教会は逆境の中で苦闘しつつ「これから宣教と教会のあり方」を模索中であるといえます。その意味で、過去の教会形成と宣教協力の見直しが必要とされ、新たな視点と方向性が求められる時ではないでしょうか?

データブック「宣教の革新を求めて」(TCU国際宣教センター2012年)では、日本の教会の現状と課題として以下の3点を挙げています。

- 1) クリストチャン人口が1%未満
- 2) 礼拝者数20-30人の教会が圧倒的多数(66%)を占め、牧師・信徒ともに高齢化が進んでいる
- 3) 160以上もの教団・教派が乱立している

また、日本全体の10%を占めるペンテコステ・カリスマ系教会の近年の動きに注目しています。過去11年間で日本の大半の教会が教勢を下げる中で、ペンテコステ・カリスマ系が増加しているとの評価です。(教会数110% 教会員数119% 礼拝者数135%の伸長率)

上記から、日本における宣教を力強く進めるためには、収穫の主の導きの中で「青少年を引きつける魅力的な礼拝と堅固な教会形成への移行と変革」「次世代への効果的な継承プラン」「教団・教派が結束して宣教する体制づくり」等が急務であり必須であると考えます。また、外国人会衆との緊密な協力関係が必要です。JPCにおいてもペンテコステ信仰に立つ諸教団に広く呼びかけ、日本宣教に寄与するこれからのペンテコステ教団の協力関係について研鑽と相互理解を深めていきたいと考えています。共に一つになって進む時、神の御手がさらに動かされることを期待します。

教会における婦人部の活動分野について

日本ネクスト・タウンズ・ミッション

関東栄光教会 牧師 **三坂 正治**



- | | |
|-------|--|
| 1 組織 | ハンナの会、マリヤの会（祈祷、伝道、奉仕） |
| 2 集会 | 毎木曜礼拝、火曜日地区集会（月2回）、毎水曜日祈祷会（正午） |
| 3 活動 | ランチョン、バルナバ会（バザー）、リベラの会（料理教室）、聖歌練習、
シャローム愛餐会、コイノニアアワー（持寄り食事交わり会） |
| 4 奉仕 | 訪問、司会、奏楽、聖歌隊、CS、保育、事務所、教会清掃、接待、
アッシャー、会計（出納）、見舞い、引っ越し、結婚出産、弔事 他 |
| 賜物の活用 | 料理、生け花、書道、裁縫、彫刻絵画（カレンダー・レタリング）
美化（張替・植替え・仕立て・花壇・床磨き） |

関東栄光教会における婦人部の活動は、教会で結婚して訓練された人々によって始まり、やがて、新しく加わった婦人たちが熱心に近隣の人々を誘うようになり、増えて行きました。特に木曜礼拝には早々と来て、恵みの座にひざまずき、靈性を整えてから礼拝に臨み、熱心にみことばに聞き入っています。夫や両親、舅、姑を救いに導き、また子育てに専念しました。やがて成人した子どもたちも結婚し、孫たちも受洗して行き、四世代で礼拝する一族が増えていく中、五世代に施洗した一族もあります。



婦人部は、段階的に組織化されてきました。ハンナの会は25人のリーダーから成り、婦人たちの家庭10ヶ所で地区集会を持ち、二人一組のリーダーがその責任を担っています。牧師不在の時の木曜礼拝は、地区ごとに証とメッセージを担当します。普段の地区集会は、みことばの分かち合いと祈り会です。マリヤの会25人のメンバーは地区集会でリーダーをサポ

ートし、他のメンバーに仕えます。ハンナの会とマリヤの会は月一度の活動報告や聖書の学びがあります。ランチョンは年2回、ゲストを迎えて、ホテルまたはチャペルにおいて行われ、新しい人々を誘います。食卓の交わりを通して福音に触れるとても良い雰囲気の催しとなっています。バルナバ会（バザー）は年2回行ない、収益金は全て海外宣教に捧げます。福音のショートメッセージを聞いて後、楽しいショッピングタイムです。相互互助の為に、献品された物は高級品であっても超格安にします。リベラの会は年1～2回の料理教室です。やはりここでも福音の時間としてみことばの糧を備えます。ランチョンもバルナバ会もリベラの会も、中心目的は伝道です。それに加えて婦人は、教会全体で行うコンサートやクリスマス、イースター

ー、その他の催しに積極的に身内、友人、知人を導いています。シャローム愛餐会は、敬老の日の前の木曜日に、年長者に対する謝恩の意を表し、寿ぎ、尊ぶ会食のときです。婦人部の活動は多世代教会形成の重要な役割を担っています。

牧師夫人は、婦人の活動の要に立って、祈り深く、指導しています。



一地区集会の例証　　教会に来始めた子育て中の婦人を通して、団地の砂場から幾人もの同じような育児の悩みを持つ婦人たちが導かれて来ました。「教会には子育ての先輩たちがいらっしゃって、集会中、子供たちを母子室で預かってくださるし、聖書を通して色々な事を学ぶ事ができるのよ。」と言って誘うと、子育てで疲れ切っていた方はその時、「育児から解放されて、命の洗濯ができるんだったら行きたい！」と言って来られ、半年後には、4人が受洗しました。その翌年のクリスマスに彼女（小池恵子姉）の夫も救われたこともあり、地区集会を持つことになりました。団地内では郷里の遠い方の出産の時には、みんなで上の子供たちを預かったり、食事を作ったり、また引っ越しの手伝いをしたり、色々と助け合いました。さらに導かれる人が増えて、団地内では2か所で地区集会をすることになりました。今では、子供たちが成長し、結婚して、孫も生まれ、一族で礼拝する方もおられます。

見える存在へと

単立ペンテコステ教会フェローシップ

シニヴィルタ 梨絵



「教会？どこにあるの？」

「教会の人じゃないけど入ってもいいの？」

よく聞くフレーズです。私は21歳の時に留学先のイギリスでクリスチヤンになりました。住んでいた地域にももちろん教会はあったはずですが、なぜか目に留まった事はありませんでした。もし場所を知っていても入る事はまずなかったでしょう。

聖書の中に見るイエス様は人々の眼に留まり、噂され、そしてどのような人も恐れる事なく側へよって来る様な方でした。その様な場所へと、人々の集まりへと教会がなつていけたら。その思いで 同じグループ内の2つの教会で牧師婦人との協力のもと女性の為の働きを始めました。



一つ目は、京都キリスト福音教会での『A i n o a～アイノア～』というハンドクラフトのサークルです。月に2回、地域のお母さん（主に幼稚園のつながり）が集まり毎回違ったものを作ります。消しゴムハンコにアクリルたわし、カード作り。何を作るかは集まって来ているメンバーの中で興味があるもの、得意な物など、その時々で教える人になったり、調べて用意して来る人になったり。お客様ではなく自

分の場所として教会に通って来てくれます。2時間弱の時間の中で色々な話をしながら物と一緒に作っていく。聖書を語るわけでも祈りがあるわけでもない集まりですが、教会に対しての係わりの変化は驚くべきものです。夏のキッズキャンプや教会で行なっている月1の子どもイ

ベントに子どもを送るだけではなくお母さんたち自身、時にはお父さんたちも参加してくれるようになりました。教会が家族の楽しい時持てる場所になってきている。そう思うと感謝と喜びでいっぱいになります。

二つ目は、山科キリスト福音教会でしている『フラワーポット』という子ども英語＆ママゴスペルのサークルです。地域のお母さんたちとつながりを持っていこうと始めたサークルですが、当最初めた頃は教会近くに住む親子が一組。その様な状態が何ヶ月も続きました。しかし、祈りの中で近くの児童館が開かれ、今では月2回の児童館、月1回の教会でのママ向けサークル



に10名前後の親子組が参加しています。これも直接的な伝道をしないサークルですが、この働きを通して教会が企画するイベントに来る人もでてきました。先日の教会主催で行なわれた東日本復興支援チャリティーイベントではフラワーポットのママたちがゴスペルを歌いました。ここでも教会がまだイエス様を知らない人でいっぱいになっていました。

一組だけでも継続して来てくれていたお母さんから、この記事を書いているまさに今、メールをいただいたので少しシェアしたいと思います。

『フラワーポットのおかげで児童館に行くようになりました。一緒にゴスペルが歌えるママ友に出会えました、そしてなにより、同じ年頃のお友達がいなかった娘にお友達がたくさんでてきた事感謝しています。』

教会の裏にすんで何年にもなるのに教会の存在を知らなかつた人が毎週教会に楽しみに通つてきます。私たちが宣伝せずとも彼女たちがサークルに友達を誘つて来てくれます。それは教会が、会いたい人たちが集う、他のお母さんたちとのまた子どものお友達との出会いの場になっているからではないでしょうか。

まだ知らない。でも、知ることができる場所に今はいる。

イエス様の導きに、そして救いの業に。感謝です。

pray&hope プロジェクト

日本オープンバイブル教団

墨田聖書教会 伝道師 石川 葉子



月に一度、平日の午後、超教派による「女性の祈り会」を教会で開いています。

まず、ウクレレと、マラカスや鈴など打楽器を自由に使った賛美で、緊張をほぐします。その後、各自の近況報告、学び、祈り、お茶の時間という流れです。傾聴、共感、経験の分かち合いといったピア（仲間）カウンセリングの手法の良いところを取り入れています。

否定しない、教えない、守秘義務がルール。私は進行役ですが、アドバイスはしません。毎



回、ワンテーマを選び、それに即した多くのみことばを開き、各自の気付きを大切にしています。最後に、持ち寄ったお菓子を、少し可愛めの紙ナプキン等でスタイリング。季節の手作り菓子から、割れ煎餅まで、人それぞれ。飲み物は、女性好みのハーブティー等、リラックスできるものを私が用意します。ここでおしゃべりタイムをたくさんとるのがポイントです。会は全部で4時間ほど。このボ

リュームが、満足感を与えるようです。

告知は教会のブログ。拙著『こころのごはん』を読んで訪ねて来る人が多く、参加者は6～12名ほど、30～80代。所属教会は全員違いますが、多いのは福音派と日本基督教団。予約不要ですが、初回のみ、祈りの課題と所属教会の明記を事前にお願いしているため、心情を綴った長い手紙が先に届くこともあります。女性には感情の受け止めが重要なので、私とのこの事前のやりとりが、当日、会の安全確保にも役立ちます。ここでもカウンセリング等はしません。靈的ケアは、所属教会の牧師の領域なので境界線を守ります。

所属教会の教理を尊重し、祈りも人それぞれのスタイルで行います。ただ、その中で、伝統重視の教会の人は、聖霊の自由な働きを体験することがあり、信仰や祈りが変化するきっかけともなるようです。

2008年、超教派の「友だちプロジェクト」として一人で立ち上げたのが始まりです。当初は、月に一度の固定メンバーでの祈り会と、教団の女性伝道師等の協力を得て、いやしと聖霊の満たしに焦点をあてた、30～100名規模の集まりを行っていました。

ところが、東日本大震災をきっかけに、広域から他教会の女性達が、月に一度の祈り会に次々と参加するようになりました。防災の観点からも、地域のクリスチヤン女性達とつながる必要性を感じていたところ、他教会所属で近隣に住む女性4人がコアメンバーとして与えられ、現在のスタイルになりました。

コア以外は、他県など遠方からの参加が多く、新幹線利用者もいます。毎回1名ほどの新会者は切れ目なくあり、安心して靈的リフレッシュできるサードプレイスとしてのニーズを感じます。家族としての教会とは違い、本音で話せる「友だち」のスタンスがほどよい距離なのかもしれません。数回来て満足すると、所属教会だけで安定し、足が遠のきます。また、数年ぶりに顔を出す人もおり、そういう時は、同窓会のような雰囲気になります。



未信者には、住まいに近い教会を案内します。必要に応じて、知り合いの牧師夫人と連携しています。実際、留学前にこの会に来た人を、留学先の日本人教会の牧師夫人とメールでやりとりをしてつなぎ、現地で洗礼を受けたケースがありました。

キリストを真ん中に置いた関係性を大切にしていますので、クリスマスとイースターには聖餐式をします。世代を超えて、生活レベルでも友だちとなり、助け合うことが増えてきました。最近は、食事会等のアクティビティを企画することがあります。

軽々と教団教派を越境できるのが女性の強み。ひとつの教会では担いきれない交わりを補完する意味でも、このように小さな自助的な場が各地にあると、信仰のセーフティネットとして役立つように感じています。

女性の務め

神の家族キリスト教会

ニューライフチャーチ原チャペル 伝道師 **吉田 由美子**



神の家族代表の水野先生も私の主人も女性が活躍する事を応援して下さいます。それで私はのびのびと（笑）働きをすることができます。月一回の礼拝メッセージ、CSの校長と幼稚科、礼拝賛美司会、礼拝後のみんなのお昼ごはん、祈りの家、いろいろ忙しくしていて自分は何者だろうと思うことがあります。私は目を閉じて「主よ、私の姿を見せて下さい」と言う時、私は見張所に立つ見張人です。これが私の姿です。私はこの務めを喜び、任命して下さった主に感謝しています。

私の憧れる女性は士師記のヘベルの妻ヤエルと、イエスさまの誕生を祝福したアンナです。ヤエルは祈る人でした。時を逃さずこの世の主権者を打ち碎き、イスラエルと家庭に祝福をもたらしました。又、アンナは昼も夜も神の宮で祈り「主の時」を知っていました。

シオンのために、わたしは黙っていない。エルサレムのために、黙りこまない。その義が朝日のように光を放ち、その救いが、たいまつのように燃えるまでは。 イザヤ書6章1節

冒頭、堅い事を書きましたが、人生には本当に沢山の苦しみ、悲しみ、困難があるものです。もちろん喜び、達成、奇跡なども溢れています。祈り忍耐し悔い改め待ち望み感謝し、また祈り忍耐し待ち望みます。これを繰り返しながら私は主の偉大さ、主の憐み、主の恵みを学んでいます。

祈って日本を守り名古屋を守りこの地域を守ります。敵からの攻撃を防ぎ略奪された人々を

取り返します。具体的には、捕えられている人々の解放を祈り、テロを見張りこれを禁じ、疫病や大量殺人の計画を禁じ、東海大地震も起きないように祈ります。家庭や教会のクリスチヤンをサタンから守ります。イエスさまの御名と血潮はすでにサタンに勝っているからです。

突然、子育ての話に変えますが、母親は子育てに真剣なあまり「命令調で決めつけて叱る」事があります。これが結構子供を傷付けていることを知りました。それを知って以来、子供に寄り添い、私自身が御靈の実「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔軟、自制」を結ぶ様に自分を変えました。私自身を変える時、周りは変わります。

話を戻しますが「見張人」には二つの役目があります。一つは敵の戦車を見張る、もう一つは終わりの時代の神の声を聞く事です。私は日本のリバイバルは「義の太陽が昇る」ようにしてやってくると信じています。曇りが続くように思っても、突然、主の栄光が朝日の光のように表れてきます。日本のリバイバルを信じて祈り続けます。

祈って家庭と地域を守る女性を育てる。これが女性である私の務めです。

最後に私達の教会の二つのグループをご紹介します。ひとつは、ゴスペルとダンスを子供たちに教え、いろいろな場所で賛美をしている「エヌエル」というグループ。もう一つはタンバリンダンスで主を賛美している「G R A C E」というグループです。この二つとも女性のリーダーでよく祈りよく獻げ、私と思いを一つにしてくれます。ますます、主に喜ばれる働きを共にしていきたいと願っています。



女性の可能性を求めて

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

港南シオンキリスト教会 牧師 **野川 悅子**



教会には現在多くの女性が集っています。それはイエス様が地上に居られた時からのことでした。二千年前、父権性の強いユダヤ社会で女こどもは物の数にも入らず神様を直接礼拝することもできませんでした。でもイエス様は女性に対しても福音を語り分け隔てなく救いの御業をなしてくださったのです。イエス様を慕って共に旅した女性もいましたし、イエス様が復活の姿を最初に婦人達に見せてくださったことも女性にとって大きな光栄になったことと思います。イエス様を通して女性は自分の存在の価値を見出し、最高の人生の主と出会って仕える喜びを知ったのではないでしょうか。

クリスチヤン医師であったポール・トゥルニエはその著作「女性であること」の中で、『男性は物を見ていて人を見ていないが、女性は人を見ている』と書いています。女性は常に人に关心を抱き、人がどう思っているか、どうしているかを気にして生きています。その能力は母親が子育てをする時に必要で身に付けているかもしれません。まだ言葉も話せず、何もできないわが子に対し、母親は見事にその泣き声や表情で何を欲しているか見分けていきます。よく見て観察し判断しているのです。これは素晴らしい能力なのですが、ともするとマイナスに働き、女性はいつも人を意識し過ぎて翻弄され、人に傷つけられ、平安のない毎日を過ごしてしまう可能性を持っているとも言えます。

でももし女性がイエス様と出会い、この方を信じて救われたのならばどのような変化が期待できるでしょうか。人への関心は人への愛に変わり、救いの働き、伝道の業に繋がっていきます。人の立場に立ち、その人がどのような助けを必要としているかを悟り、手を差し伸べることもできますし、温かい配慮のある言葉かけによって人を励ますことができるようになります。

また女性は靈的な感性の鋭さもあり、良く祈り、深く聖霊を感じて癒され、靈的な喜びに満

たされると共に、とりなしの祈りを力強くしていける面を持っています。女性がイエス様を大切にし仕える姿は、世の人に信仰が本物であることを示すことでしょう。

クリスチヤン女性にはこれからもまだまだ豊かに用いられる可能性があります。ただ常に傲慢にならず自分が靈的に正しい道を進んでいるかを祈り、御言と照らし合わせると共に靈的な指導者である牧師先生と心が合っているか顧みなければなりません。いくら素晴らしい働きに思えてもし教会を分裂させるようなものなら、そこにサタンも働いているからです。また自分が誰を喜ばせたいのかもいつもチェックする必要があります。私達が喜ばせたいのはサタンでも自分でも、第一には人でもなく、神様だからです。



最近一人の女性が書いた匿名のブログの波紋が広がりました。こどもが保育園に入れず働いて活躍できないではないか、という内容でしたが総理大臣が「匿名だから本当に起きているか確認しようがない」と言ったところ、多くの婦人達がプラカードを示して「保育園落ちたのは私だ」と言いました。それを受けて待機児童がなくなるように改善がなされようとしています。

無名の婦人達が社会を動かしているのです。私達も「神など見えないのだから本当にいるのか確認しようがない」と言われることもあるでしょう。でも、「キリストによって救われたのは私だ」「癒されたのは私だ」「罪赦されたのは私だ」と言う女性がこの社会を変えていきます。そして今、社会で活躍したいと思う女性がいるように、クリスチヤンとしてもっと用いられたいという女性の時代が来ているのではないでしょうか。

私たちの教会における女性のミニストリー

サンビ教団

牧師 辻 百合子



I. 女性たちの中には様々な立場や境遇の異なる方々がおられます、すべての女性はミニストリーに入る前に学ぶべき事があります。

A) キリストの弟子となる学び

私たちは、神によってキリストの弟子となる為、世から選び出された事を知り、自覚を持ち弟子として学び主から聞く事を勧めています。（イザヤ50：4）

B) 地方教会を建て上げる協力者となる学び

ソロモンの神殿が建て上げられる時、石切り場（ルズ）で一つ一つの石が自分の置かれる所にふさわしく、また、周りの石とうまく組み合わされるよう切られ整えられていったように、私たちも今、神のみことばと神のみこころにそって不必要的古き肉の性格や自我、自己中心から出て来る肉の思いを取り扱われ、取り除かれ心碎かれて行く苦しい行程を通ります。

なぜなら、私たちの心が取り扱われずミニストリーに着くと、肉からくる自己達成の思いや自分の肉の価値観をそこに持ち込み、放縱な肉の思い通りしようとする自我が出てきて、自己存在のアピールに取って代わり、高慢という大きなサタンの罠に陥ってしまいます。 そうなる時、ミニストリーは教会の中で大きな問題となり秩序を乱し混乱を招く源となります。 良いミニストリーがゆがめられ、つぶされて行くのは決して神のみこころではありません。 そうならないために、日々のディボーションで自分を神に明け渡し祈りとみことばによって心を整え、謙虚な心で奉仕する姿勢を常に保つよう勧めています。（I列王6：7）

C) 地方教会での靈的秩序の学び

①牧師の指導を受けてミニストリーする。

自分たちの上に立てられている教会の権威の傘の下でミニストリーすることをわきまえる心が必要です。

②結婚している女性達は、夫の支えの中でミニストリーする。

彼女達の一番のミニストリーは、夫を愛し子どもを育て温もりある家庭を築くことで、それをおろそかにせず教会の中で各自神から与えられた賜物に応じてミニストリーするよう勧めています。それには夫の愛とミニストリーに対する理解が不可欠です。



Ⅱ. 教会での具体的ミニストリー

A) おもてなしのミニストリー

おもてなしの心をもって教会に来られる方々を歓迎し、喜んで仕える事です。その為にへりくだってよく教えられる心をもち、聖靈に満たされ喜んで仕える姿勢を失わないよう勧めています。（詩篇 51：10－12）



B) とりなしのミニストリー

私たちの教会での女性のミニストリーとしてとても大切にしている事は、とりなしの祈りです。婦人集会とは別に、心に願いが起こされ、使命として受け取った女性たちが共に集まり、教会の為、病いや問題の中にある兄姉の為祈り、更に神の働きの前進を妨害するあらゆるサタンの働きを縛る靈的戦いをしています。（エペソ 6：12、ヤコブ 4：7）このように教会は、破れ口に立って祈る女性たちのとりなしによって支えられています。

主はみことばを賜わる。良いおとずれを告げる女たちは大きな群れをなしている。

万軍の王たちは逃げ去り、また逃げ去る。そして家に居残っている女が獲物を分ける。

詩篇 68 篇 11、12 節

C) それ以外のミニストリー

神が教会を建てる事の象徴として旧約に幕屋が造られる事が記されています。（出エジプト35：5－36：2）その中に進んで捧げる人、聖霊により心に感動を受け知恵を用いて自ら奉仕を願う人、自分に与えられた賜物を用いて仕えて行きたいと願う人、神から名指しで任命され人々を教える力が与えられた人々によって造られました。同様に私たちの教会も建て上げの為、様々な所で女性が用いられています。

- ①婦人のセルグループ
- ②こども達の為（CS、保育園、チャーチ&ホームスクール）
- ③ワーシップ（楽器、クワイヤー、預言）
- ④教会美化
- ⑤飲食（講師接待、昼食会、ティータイムカフェ）
- ⑥各集会奉仕（アッシャー、下足、聖餐式準備、身体の不自由な人への助け等）
- ⑦牧会（悩み相談、カウンセリング）
- ⑧訪問
- ⑨慈善活動
- ⑩マネージメント
- ⑪介護（障害者、高齢者）



すべてが聖い愛をもって正しい良心に立ち、互いに愛し合い赦し合って仕えて行く女性達の協力により調和がとれ、一致した教会が建てられて來ています。女性のミニストリーは、私たちの教会の中で大きな支えです。主の愛される女性方に感謝します。

女性のためのミニストリー

シオン宣教団

金沢グレイスチャペル 主任牧師 **辻本 真悟**



教団の各教会はそれぞれ色々な取り組みをしておられます。松江の教会では最近「ゴスペルフラ」を取り入れたり、「カフェ（谷のカフェMerci）」を開いたりして、姉妹たちが生き生きと取り組んで活気が出てきています。小さいお子様を持つ若い牧師夫妻の小阪の教会は「ママカフェ」ということで、未信者のお母さんのためにお茶しながら育児など色々な相談（牧師夫人は助産師）にのられていて、働きは口コミでどんどん広がっているそうです。またその教会ではJEDミニストリー（Jesus English Dodgeballの略でドッヂボール・ミニストリー）として子供たちに主にドッヂボールを通して関係を構築するという取り組みをしていますが子供たちと一緒にご両親が応援に来られるケースが多く、その中からもママカフェに繋がってくるそうです。

<http://kosakazion.saviorin.us/jedkidofficial.php>



大阪の教会では毎週木曜日に女性集会をもつていて昨年はその集会に特に女性教職のメッセージを内外から招かれていました。「シオンマスクワイア（ゴスペルクワイア）」にも力を入れておられてやはり内外で活動されています。ほかに最近では、若いお母さんをターゲットに「ママ'S キッチン」と題して料理レシピを分かち合ったり、ある姉妹たちは高齢者施設を訪問して「歌体操」を一緒に楽しんだりしているそうです。金沢の教会では定期集会として毎週木曜日朝にレディース



サービス（祈りと学び）、レディースキャビン（女性家庭集会）をしています。また毎年、母の日礼拝はお母さんだけではなく、中高生以上のすべての女性にお花をプレゼントして祝福を祈っています。また午後からの愛餐会では兄弟たちが腕を振るって食事やデザートを用意して接待しています。（父の日礼拝はその逆ですが……）いつもは礼拝に来られていない高齢のお母さんたちも毎年楽しみにしてくれています。

母の日礼拝・愛餐会

私たちの教団は毎年聖会とユースキャンプを開催し、宣教活動やそれぞれの働きの証しを持ち寄り、分かち合いの時をもっています。時には新しいユニークなアイデアをいただいたり、互いに働きが前進していくことで慰め励まされています。そのほかに牧師会も毎年定例で三回、教職修養会一回、働き人研修会一回を開いて集まり、教会の近況報告、情報交換や意見交換を活発にしています。



女性のためのミニストリー

イエス・キリスト福音の群

代表 永井 信義



私どもイエス・キリスト福音の群（以降、福音の群）では、その交わりのスタートした時より、女性の教職者がその働きの中で重要な役割を果たしてきました。現在も福音の群に連なる教職者の半数が女性を占めています。

創世記3章15節にあるサタンとの間に置かれた「敵意」のゆえに、女性がこれまで受けたもの（それは差別などさまざまな形で歴史の中で、社会の中で表れている）ことを理解し、回復と祝福のために用いられたいとの思いを抱いています。ただ、特別に女性のためのミニストリーに群全体として取り組んでいるわけではありません。私どもにとっても働きを具体化していくことが重要な課題であると受けとめています。

2016年、福音の群の全国聖会が9月に福岡で開催されますが、女性教職者によって企画、リードする聖会を持つ予定です。小さい一歩ではありますが、その歩みが祝福されますよう、心から願い、祈りを重ねています。

また、いくつかの教会では、日本アグローの地域での集いや全国大会、国際大会に参加、その働きに協力していますが、参加している教職者や教会員にとっては、多くの恵みと祝福を受け、地域の教会、家庭に仕えるために整えられるときとなっています。

女性のためのミニストリー

日本ペンテコステ教団

代表役員 榎 義之



女王の国、女性の大統領や首相が多い現代世界です。アメリカ史上初の女性大統領が誕生するかも知れません。その意味では、日本はお飾りのような女性大臣が少しいるだけで、女性首相には程遠いように思われます。

小さな群れですが、日本ペンテコステ教団にも、5名の女性牧師が、それぞれ地域教会牧会伝道で活躍し、牧師夫人とはまた異なる牧師の任務を果たしています。



私たちは神に認められて福音をゆだねられた者ですから、それにふさわしく、人を喜ばせようとしてではなく、私たちの心をお調べになる神を喜ばせようとして語るのです。

テサロニケ人への手紙第一 2章 4節

ご存じのとおり、私たちは今まで、へつらいのことばを用いたり、むさぼりの口実を設けたりしたことはありません。神がそのことの証人です。また、キリストの使徒たちとして権威を主張することもできたのですが、私たちは、あなたがたからも、ほかの人々からも、人からの名譽を受けようとはしませんでした。

それどころか、あなたがたの間で、母がその子どもたちを養い育てるように、優しくふるまいました。このようにあなたがたを思う心から、ただ神の福音だけではなく、私たち自身のいのちまでも、喜んであなたがたに与えたいと思ったのです。なぜなら、あなたがたは私たちの愛する者となったからです。牧会の面において、その母の役割を十二分に果たしているように思います。

バラクは彼女に言った。「もしあながたが私といっしょに行ってくださるなら、行きましょう。しかし、もしあながたが私といっしょに行ってくださらないなら、行きません。」そこでデボラは言った。「私は必ずあなたといっしょに行きます。けれども、あなたが行こうとしている道では、あなたは光栄を得ることはできません。【主】はシセラをひとりの女の手に売り渡されるからです。」こうして、デボラは立ってバラクといっしょにケデシユへ行った。 士師記 4章 8、9節

日本のリバイバルの鍵を握っているのは、神に召された婦人たちではないかと思うこの頃です。

主はみことばを賜る。良いおとずれを告げる女たちは大きな群れをなしている。

詩篇 68 篇 1 1節

神にお会いできる教会 リバイバルを確信して

日本チャーチオブゴッド教団

瀬谷キリスト教会 相談役牧師 **中川 タヱ子**



私は1994年5月瀬谷キリスト教会の牧師に任命されました。どのような教会にしたら良いですか？と神様に飢え渴きをもって必死に祈りました。「神にお会いできる教会にしなさい」とのお声があり、一人でも多くの人が神様に出会い救われるという確信を持ちました。

1. 神にお会いできる教会

私の前任の牧師も女性であり、教会員の多くも女性でした。女性の活躍がいかに大切であるかを痛感してきました。小グループ祈り会を作りたいと呼びかけましたが、大半が女性で昼食の支度などでなかなか参加できない状態でした。思い切って月に1回、第4聖日をO C F (One in Christ Fellowship : キリストにあって一つとされる交わり)の日として実施しました。ショートメッセージの後、小グループに分かれて互いに分かち合い、祈り合い、愛し合い、結果的にリバイバルの備えとなってきています。

また、神にお会い出来る教会となるため、**神のご臨在と喜び賛美あふれる礼拝**を目指しています。楽器演奏を習得するため、約2年間プロの指導者から指導を受け大勢の奏楽者が育ち、礼拝の心得についても特別講師から教えられ、賛美礼拝が充実してきました。聖書的なワーシップダンスの指導も受け、チームを編成し礼拝に取り入れました。主の臨在がみちあふれる礼拝の中で、主をしたい求め、救い、解放、心と体の癒しのために熱心に祈り、祝福された礼拝を捧げています。

2. 地域に開かれた教会

婦人会ではたくさんの子育を経験された牧師婦人をお招きし、家族の救いと神様中心の生活の大切さを学んできました。

週1回、聖書を深く学び、主の弟子として証しとみことばを伝道に実践できるよう訓練しています。クリスマスランチョン、春とクリスマス前のリース作り、毎月のジョイフルトールベ

イントに家族、友人、大勢の地域の方々を招き、イエス様を伝える場としています。多くの女性が参加する**ゴスペルクワイア**は15年間、様々な場所で活動し、イエス様を伝え、救われる人も出ています。

教会学校では多くの女性スタッフが与えられ、子供たちが沢山集まるような様々なアイデアを駆使し、子どもがイエス様の教えを学び成長するよう、愛をもって育てています。また、**シニア対象の“せやふれあいの庭”**、シニアの方々が生きがいのある生活ができ、救われるため様々なプランを実施しています。

東日本大震災後の、福島の川内村仮設住宅訪問は手作り弁当と生活必需品や手造り品を持参し、スタッフとユースの賛美と祈りや音楽療法などで笑いと希望を与え、訪問は8回を重ね大変喜ばれています。今年はNPO法人として認定され、さらなる活躍が期待されます。

3. 新会堂献堂

会堂を献堂したいと長い間祈りつつ候補地を探し、やっと現在の場所が示され、みことばが与えられ、「そこはあなたの神、主が求められる地で、年の初めから年の終わりまで、あなたの神、主が、絶えずその上に目を留めておられる地である。(申命記11章12節)」ここだと教会で決断し、教団監督と牧師会の承認を得て2003年6月土地を購入、2004年10月に主のご臨在の中、献堂式を持つことができ、皆で神様のご栄光をほめたたえました。

2014年3月23日、祈り備えてきた、後任の主任牧師の就任式をして頂き神様と皆様に感謝しています。20年間の牧会の歩みを振り返ると、神様は約束通り共にいて、全てを益としてくださり、救い、癒し、解放など祈りに応え、84名の受洗者を与えて下さいました。



これからもキリストの体なる教会が主任牧師夫妻と思いを共有し、福音宣教に励んでいきます。聖霊様が共におられるので大宣教命令は必ず成功することを確信し祈り労していきます。

女性のためのミニストリー

日本フォースクエア福音教団

女性ミニストリー委員会会長 秋津福音教会主任牧師

小坂 叡華



女性伝道者エイミー・マクファーソン女史が開拓し設立したフォースクエア福音教団は当初より女性ミニストリーの活動が活発になされていました。アラバスタボックスという器が各地の教会や家庭での小銭をささげるために用意され、たまたま献金を集めて神学校や神学生のサポートに送られていたそうです。ユニークな働きとしてはウエディングドレスを用意できない女性のためにウエディングドレスを集めて貸与したとも聞いています。

日本フォースクエア福音教団では教団規則の改定時に女性ミニストリー委員会を立ち上げ、「ONE HEART」というニュースレターを発行して5教区の姉妹たちの交流をはかっています。この機関紙は日本語、英語、ポルトガル語に翻訳されて各言語の教会に配られます。又、毎年開催される教団大会（教団総会）には必ず女性ミニストリーのプログラムを用意して、ランチョン形式で大会講師の夫人や教団内の女性牧師を招いて証しやメッセージを聞き、Q&Aなどで学んでいます。小さなプレゼント交換も楽しみな恒例行事です。教団60周年の記念大会にはジャック・ヘイフォード博士ご夫妻を講師に招き、アナ夫人から貴重な開拓時の話を伺いました。和服姿の姉妹たちのお茶席も大変喜ばれました。

教区ごとの活動はそれぞれが自由に企画して行なわれています。子育てセミナーや公園でのピクニックと証しの集い、女性セミナーや女性クリスマス会などです。私も何度かご奉仕をさせていただき地域性を楽しませていただきました。

10年以上前になりますが、オーストラリア・ヒルソングチャーチの「COLOUR」という女性カンファレンスに団長として2回ツアーを組んで参加したことがあります。4000人の女性が集まる聖会は圧巻でした。男性の目を気にしないでDVやセクハラ等の辛い証しに涙して励ましの祈りを捧げたり、華やかなダンスやワーシップなどの解放された交わりには良

い刺激を受けました。これまでに様々な教団の女性聖会でご奉仕する機会に恵まれましたが、このような規模の聖会をいつか日本でも開催したいという思いは残念ながら未だ実現には至つておりません。

私の牧会をしている秋津福音教会の女性ミニストリーは毎月一度、土曜日に「エステル祈祷会」という集会を行なっています。女性ならではの様々な悩みや祈りの課題を自由に発言できる雰囲気をつくるようにしています。互いに問題を分かち合った後にその問題の助けになるような聖書のみことばを開きます。その後は2, 3人づつにわかれて互いのため、教会や家族のためのとりなしの祈りをしています。ここ1年ぐらいは「聖書の女性」というテーマで聖書に登場する女性たちについてメッセージをしています。準備をする中で聖書の女性たちの信仰や生き様に私自身がとても恵まれています。いつも思い出すのですが、崔子実先生がお元気だった頃「イエス様の十字架に最後まで寄り添っていたのは女の弟子だった」ということばが私の女性ミニストリーの原点になっています。

どの教会でも7割は女性信徒です。そしてその女性たちにはそれぞれに様々な賜物が分け与えられています。それを活かしてキリストにある女性の務め、女性の特性、女性の役割、それも子どもの時代、娘の時代、妻の時代、母の時代、シングルマザー、シニアの時代、シルバーの時代に合わせて複雑な現代社会における奥深い女性の生き方を、情熱を持って支えて行きたいと願っています。

この女は、自分にできることをしたのです。マルコの福音書14章8節



女性による、女性のためのミニストリー



日本ベテルミッション

福生ベテル教会 牧師 **津坂 良夫**

福生ベテル教会の女性のミニストリーの紹介

2005年からスタート

私たちの教会では、女性の靈的な必要に答えるためのミニストリーを2005年から、対象を女性に限って「女性のバイブルスタディ」として始めました。この働きは、現在も牧師夫人と女性たちによって継続されています。最初は毎週火曜日の一つのクラスから始まりました。私たちが、最初に用いたテキストは、当時出版された「境界線」(地引網出版)でした。この本を通して、女性たちはバウンダリーの大切さを学び、心がけるようになりました。

2007年聖書の学びがスタート

2007年からは、隔週の火曜日に聖書の学びが始められ「求道者の女性」向けのバイブルスタディも平行して行われるようになりました。

2008年から子育て中の若い母親向けのクラス「ペアレンティング」が始まる

2008年からは「子育て中の若いお母さん」が「子育てを学ぶ」クラスが始まりました。現在は「ペアレンティング」として、子育てを学び、互いに励まし合うグループとなっています。2013年からは、若いお母さんたちも聖書を学ぶ必要性を感じ、ペアレンティングでもバイブルスタディが行われるようになりました。この時間はベビーシッターも用意され、お母さんたちが集中してみことばを学ぶことができるよう配慮されています。

又昨年は、アルファ・コースの「ペアレンティング」(DVD)を導入しました。このクラスには子育ての学びの必要を覚えている未信者のお母さんたちが集まり、皆さん、「こんなにオープンな子育ては初めてだ。」「今までこんな話は聞いたことがなかった。」と感動して参加されましたそうです。

現在の女性に対するミニストリー

現在は、日曜日の礼拝前のひと時、お茶でもてなす女性向けの「モーニング・グレイス」があり、少し早めに来られた女性たちが、お茶を飲みながら礼拝を待っています。午後には「働く女性向けのバイブルスタディ」が月1回行われるようになりました。これは社会の中で働いている女性たちのみことばの学びです。又以前から行われている、火曜日と木曜日の女性向けのバイブルスタディと求道者向けのクラスは継続して行われています。

バイブルスタディの内容

今までの女性のバイブルスタディのテキストは、女性たちの希望と祈りによって決められ、現在まで「境界線」「ローマ人への手紙」「I・IIコリント人への手紙」「ヨハネの黙示録」「創世記」「出エジプト記」「ダニエル書」、そして「靈的な解放」を学んできました。

女性のための働きの必要性

女性のためのミニストリーの特徴は、女性によって、女性特有のニーズに合わせて、あるいは女性にわかりやすい語り方、教え方によってバイブルスタディが行われていることです。そのためでしょうか、これらクラスに参加している女性たちは、クラスの中で、実によく笑い、よく泣いています。

日本ペンテコステ協議会 総会雑感

日本ペンテコステ協議会

書記 佐藤 成紀



2015年11月26日（木）正午より、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団中央聖書神学校チャペルにて、日本ペンテコステ協議会総会が開催されました。12教団から、合わせて18名の出席がありました。

昼食と交わりの後、細井 真議長が挨拶をし、永井信義副議長がディボーションのメッセージを取り次ぎました。永井師はヨハネ福音書6章26－27節を開き、「被災地の人たちに、いのちのパンであるイエス様を伝えなくてはならない」と語りました。各教団の近況報告、前回議事録の承認、2015年度活動および会計報告承認の後、役員改選が行われました。アッセンブリー教団の新理事長・寺田文雄師がJPC新議長に就任し、「ペンテコステの信仰を持ちつつ、オールジャパンの体勢づくりが必要だ」と挨拶しました。その他の役員は留任となりました。続けて、以下の2016年の活動計画について確認がありました。

日本ペンテコステ協議会研修会

日 時：2016年5月26日（木）11：00～16：00

場 所：日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 中央聖書神学校チャペル

会 費：一人 3,000 円

プログラム：11：00～12：00 礼拝 説教：辻秀彦師

12：00～13：30 昼食

13：30～16：00 講演 テーマ：「女性のためのミニストリー」

講師：石川葉子師、石倉範子師

日本ペンテコステ協議会総会

日 時：2016年11月24日（木）12：00～16：00

場 所：日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 中央聖書神学校チャペル

2016年度予算については、1)負担金を協力金と名称変更する、2)趣意書を作成し研修会で一般献金を募る等の提案があり、活発な議論の末、2016年度の計画と予算案は満場一致で承認されました。

その他、翌日開催予定の日本ペンテコステ・ネットワーク（JPN）懇親会や2016年に開催されるJPFカンファレンス2016、エンパワード21ロンドン大会、ペンテコステ世界大会、日本伝道会議等の案内がありました。総会は、最後に祈りをもって終了しました。

日本ペンテコステ協議会規約

- 1) 本会は、名称を『日本ペンテコステ協議会』(Japan Pentecostal Council 略称 JPC)とする。
- 2) 事務局
本協議会の事務局を日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団本部に置く。
- 3) 目的
本協議会の目的は、日本におけるペンテコステ信仰の健全な成長と発展を促進するために、ペンテコステの教団及び教団に準ずるグループの指導者・教職者間における交流を深め、情報交換及び相互理解を図り、教職研修を行うことにある。
- 4) 信仰宣言
本協議会の構成員は、以下の信仰宣言を告白するものとする。
 1. わたしたちは、聖書が靈感された、唯一の誤りのない權威ある神の言葉であることを信じる。
 2. わたしたちは、父と子と聖靈の三位において永遠に存在される唯一の神を信じる。
 3. わたしたちは、わたしたちの主イエス・キリストの神性、処女降誕、罪のない生涯、奇跡、十字架の血による代償的贖罪的犠牲、肉体をもっての復活、父の右の座への高舉、また、力と栄光の中での再臨を信じる。
 4. わたしたちは、失われた罪人のためには、みことばと聖靈による新生が不可欠であると信じる。
 5. わたしたちは、異言の証拠を伴う聖靈のバプテスマを信じる。
 6. わたしたちは、聖靈の今日的働きによる肉体の癒し、および種々の聖靈の賜物を信じる。
 7. わたしたちは、聖靈の内在によって清い敬虔な生活が可能となることを信じる。
 8. わたしたちは、わたしたちの主イエス・キリストにおける信者の靈的一致を信じる。
 9. わたしたちは、聖徒の復活、失われた者の審判、新天新地を信じる。
- 5) 活動
定期的に会議を開催し、各教団及びグループの指導者・教職者間の交流、意見・情報の交換、研修その他必要な活動を行う。広報誌と機関誌を発行する。
- 6) 総会
本協議会は最高議決機関として総会を置く。総会は、加盟教団にそれぞれの教会数に応じて割り当てられた数の代議員によって構成する。

50 教会以下	代議員 1 名
51~100 教会	代議員 2 名
101 教会以上	代議員 3 名
- 7) 役員
本協議会に議長、副議長、書記、会計を置き、その任期を 3 年とする。役員会は議長によって召集され、定期的に開催する。
- 8) 監事
本協議会に監事を置き、その任期は役員の任期に準ずる。
- 9) 経費
本協議会の経費は、加入団体の負担とする。
- 10) 附則
本規約は、1998 年 5 月 29 日より実施する。この規約の変更は総会の議決を経て実施する。本規約は、2003 年 3 月 25 日および 2014 年 11 月 27 日に改正された。

日本ペンテコステ協議会 2015 年度会計決算報告

2014 年 11 月 1 日～2015 年 10 月 31 日

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
負担金	500,000	435,000	総会	30,000	39,348
研修会礼拝献金	70,000	72,610	役員活動費	140,000	126,226
研修会会費	180,000	138,000	研修会	200,000	133,102
JPN 設立献金	30,000	5,000	JPN 設立献金	30,000	5,000
JPN 年会費	60,000	75,000	JPN 年会費	60,000	75,000
雑収入		100	PWF 負担金	62,000	60,445
			PAM 負担金	62,000	61,900
			JPC ニュース	90,000	76,000
			新聞広告	70,000	66,720
			事務諸費	10,000	6,210
			PWC 参加積立	50,000	50,000
			予備費	36,000	10,000
小計	840,000	725,710	小計	840,000	709,951
前年度繰越金	601,527	601,527	次年度繰越金	601,527	617,286
合計	1,441,527	1,327,237	合計	1,441,527	1,327,237

<負担金納入団体>

単立ペンテコステ教会フェローシップ	40,000
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団	150,000
日本チャーチオブゴッド教団	50,000
イエス・キリスト福音の群	20,000
日本ネクスト・タウンズ・ミッション	20,000
日本フォースクエア福音教団	30,000
シオン宣教団	30,000
日本オープンバイブル教団	40,000
日本ペテルミッション	20,000
日本ペンテコステ教団	30,000
サンビ教団	5,000

<PWC 参加積立>

2014年度	50,000 円
2015年度	50,000 円
合計	100,000 円

<JPN 設立献金納入団体>

サンビ教団	5,000
-------	-------

日本ペンテコステ協議会 加盟団体一覧 (2016年5月現在)

- 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 理事長 寺田 文雄
 <教団本部> 〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20
 TEL.03-3918-5935 FAX.03-3918-0474
- 日本ネクスト・タウンズ・ミッション 代表 岩井 繁信
 <鈴鹿キリスト福音教会> 〒513-0035 三重県鈴鹿市矢橋町 471-2
 TEL.059-383-5145 FAX.059-369-2424
- 単立ペンテコステ教会フェローシップ 代表 中見 透
 <御殿場純福音教会> 〒412-0024 静岡県御殿場市東山 711-24
 TEL.0550-82-2872 FAX.0550-82-7233
- 日本オープンバイブル教団 代表 菅原 亘
 <神戸キリスト栄光教会> 〒653-0845 兵庫県神戸市長田区戸崎通 3-9-12
 TEL.078-612-5511 FAX.078-621-5513
- シオン宣教団 代表 辻本 真悟
 <金沢グレイスチャペル> 〒920-0816 石川県金沢市山の上町 26-48
 TEL&FAX.076-253-1790
- イエス・キリスト福音の群 代表 永井 信義
 <東北中央教会> 〒981-3604 宮城県黒川郡大衡村駒場ゴスペルタウン
 TEL.022-345-2991 FAX.022-345-2992
- 日本ペンテコステ教団 代表役員 榎 義之
 <生駒聖書学院> 〒630-0243 奈良県生駒市俵口町 951
 TEL&FAX.0743-74-7622
- 神の家族キリスト教会 代表 水野 明廣
 <クリスチャンライフ> 〒464-0094 愛知県名古屋市千種区赤坂町 4-64
 TEL.052-721-7831 FAX.052-721-7625
- 日本フォーススクエア福音教団 総理 増井 義明
 <教団本部> 〒359-1125 埼玉県所沢市南住吉 10-8
 TEL.04-2923-1858 FAX.04-2922-7716
- 日本チャーチオブゴッド教団 監督 八束 選也
 <東京ライトハウスチャーチ> 〒146-0093 東京都大田区矢口 2-1-18
 TEL.03-3758-1625 FAX.03-3758-1647
- サンビ教団 代表 辻 秀彦
 <ジーザスフェローシップ広島> 〒730-0812 広島県広島市中区加古町 14-8
 TEL.082-241-8957 FAX.082-247-1574
- 日本ベテルミッション 会長 津坂 良夫
 <福生ベテル教会> 〒197-0003 東京都福生市熊川 1101
 TEL&FAX.042-551-1327